

・いったん口を離し、同じ要領でもう1回吹き込みます。

## ポイント

- 傷病者の顔面や口から出血している場合や、口と口を直接接触させて口対口人工呼吸を行うことが求められる場合には、人工呼吸を省略し、胸骨圧迫のみを続けます。

## ⑥心肺蘇生(胸骨圧迫と人工呼吸)の継続

- 胸骨圧迫を30回連続して行った後に、人工呼吸を2回行います。
- この胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ(30:2のサイクル)を、救急隊に引き継ぐまで絶え間なく続けます。

## ポイント

- 胸骨圧迫を続けるのは疲れるので、もし救助者が二人以上いる場合は、1~2分間程度を目安に、胸骨圧迫の役割を交代するのがよいでしょう。



胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ